

水だより 高松



高松市上下水道工事業協同組合

〒760-0018 高松市天神前5番30号
TEL(087)831-5633㈹ FAX(087)861-9921

第4号



ごあいさつ

高松市上下水道工事業協同組合

理事長 中川 悟



「高松市上下水道工事業協同組合」は、本年五月十六日に五十周年を迎えた。戦後の混乱期に設立された当組合は、物資乏しい時代から、高度成長を経て、さらに厳しい低成長時代の渦中にあります。そんな中でも、四月には明日を目指して四十五歳までの会社後継者二十五名による青年部が新しく発足いたしましたことは、明るい出来事であります。

地球の約60%は水ですが、その97%は海水であり、淡水は全体の3%です。さらにそのほとんどは氷の状態で、私たちが飲み水として利用できるのは8%しかありません。人は一日にペットボトル8本分の水分が必要と言われていますが、その半分は食物から摂取しています。残りの4本分は飲み水によって補わなければなりません。このように水は今後さらに貴重な資源になり、まさに命の水と言えます。

その水に係わる私たちの仕事は一層重要度を増すと思われます。プロとしての誇りを持って、社会のために取り組んで行かねばなりません。組合設立五十周年から、さらに新たな五十年を目指して、新しい気持ちで組合活動に、皆様とともに取り組んでまいりたいと存じます。関係各位におかれましても、今後とも格別の御指導を賜りますようお願い申し上げます。

新たな五十年に向けて

高松市上下水道工事業協同組合

顧問 謹訪 博文



本年に入り、高松市上下水道工事業協同組合が、設立五十周年という記念すべき大きな節目を迎え、五月には、多数の皆様方の御出席を賜り、設立五十周年記念式典を盛大に開催することができますこと、関係者のひとりとして、厚くお礼を申し上げますとともに、心からお慶びを申し上げたいと存じます。これまでの五十年の道のりは長く、さぞかし幾多の苦難や試練があつたものと拝察いたします。昭和二十九年に参加企業十五社による高松市水道工事業協同組合が設立され、昭和三十九年の「高松市上下水道工事業協同組合」への改組、さらに設立三十周年記念の年に当たる昭和五十八年には組合ビルの完成など、組合基盤の充実強化はもとより、戦後の復興期、高度経済成長期、オイルショック、バブル経済の崩壊など社会経済情勢の大きな変動の中で、市民生活に欠かすことのできないライフラインを守るため、施工技術の改善向上と研鑽に日々努められ、本市上下水道の普及促進に大きく貢献されてこられた組合員の皆様方に、心から敬意と感謝の意を表する次第でございます。

どうか、組合員の皆様方におかれましては、このたびの五十周年を契機に、ますます一致団結され、上下水道の普及促進と組合のさらなる飛躍発展のため、新たな五十年、百周年に向けての歴史を刻むべく、今後、さらに幅広い活動を展開されますよう、念願してやみません。

終わりに、高松市上下水道工事業協同組合が、設立一世紀へ向けて、ますます飛躍発展されることを祈念いたしますとともに、組合員の皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げます。

ごあいさつ

高松市上下水道工事業協同組合

顧問 二笠 輝彦



役員紹介

理事長

中川 悟



専務理事

浦川 和秀



理事

(株)北風建テック
北風 幸男



長尾 正勝



副理事長

高尾 保



顧問理事

阿野 善次郎



高尾 保

監事

藤澤 由晴



平井 章



高木 新一



二十一世紀がスタートして、はや三年目となり、高松市上下水道工事業協同組合が記念すべき設立五十周年を迎えたこと、まずもって心からお慶び申し上げます。中川理事長様はじめ歴代役員並びに組合員の皆様方には、長年にわたり、本市上下水道の普及促進に多大な御支援、御協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げますとともに、深く敬意を表する次第でございます。

さて、このたび、私儀、御縁あって、高松市上下水道工事業協同組合の顧問を仰せつかることとなりましたが、組合員の皆様方、どうぞよろしくお願ひいたしたいと存じます。

最後になりましたが、高松市上下水道工事業協同組合のますますの御発展と、皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。

鉛給水管の解消へのご協力について

高松市水道局水道整備課 課長 多田 弘一

高松市上下水道工事業協同組合の皆様方には日頃から水道事業に御協力いただいておりますことに對し厚くお礼申し上げます。

鉛管の使用は、我が国では、近代水道が創設されて以来、安価で施工性が良いため、給水管として全国的に使用されており、本市においても、大正10年の通水以来、平成元年まで使用されてきました。

その後、国際的な健康影響に関する再検討の始まりを受けて、厚生労働省として、平成元年、平成4年の通知により、関係者に対してその対策の指導がなされ、本市においても、平成2年からは鉛管の使用を完全に取りやめ、耐衝撃硬質塩化ビニール管に変更するとともに、使用初期の水は、雑用水など飲用以外の水に使用していただくよう、広報活動を行つたところであります。また、国において、平成12年12月には「鉛給水管敷設替技術指針」が配布され、このなかで「鉛製給水管解消基本計画」を策定して、鉛管解消事業を実施すること、また、平成13年の水道改正案の議決にあたり、鉛の水質基準を早期に強化すべき旨の付帯決議がなされました。

このような状況をふまえ、対策の一層の促進を図り、より安全な水の供給という目的を達成するため、平成15年4月1日から、鉛に関する水質基準が、1リットル中0.01mg以下と強化されました。

本市においては、平成14年度「高松市水道事業鉛製給水管解消基本計画」を策定し、この計画に基づき、各種の取り組みを進めています。

まず、鉛管使用実態把握を行い、本年4月、5月の検針時に、各家庭の鉛管使用距離をお知らせし、当面の対策として、滞留水を飲用以外にご使用いただくとともに、鉛の影響を一番受けやすい、乳幼児、胎児、妊婦さんは特に注意していただこうよお知らせしたものであります。また、お客様が建物を増改築される場合には、その工事にあわせて、鉛管の取り替えを行うようお願いしております。給水管は所有者個人の財産であることから、本市の工事にあわせて施工する場合以外には、お客様の費用負担でお願いすることになりますが、鉛管の取替えを促進するため、鉛管取り替え工事費用（水道局の基準で算出した額）の2分の1で、10万円を限度とした助成制度を設け、取替えの推進を図つてお願いいたします。

いずれに致しましても、鉛管問題の根本的な解決は、鉛管の取替え以外にないと認識に立つと共に、鉛管の取替につきましては、指定工事事業者でないと施工できないことから、お客様と直接対応されます、組合員の皆様方の格別の御理解、御協力を賜り早期解消を目指して参りますのでよろしくお願いいたします。

水明会二十二年のあゆみ

水明会 会長 河北 幸子

雨が取り持つ縁とは、南九州へ二泊三日の飛行機ツアー旅行が、台風接近の為に中止になり、急遽京都方面へ変更になりました。これがそもそも言わんとする、事の始まりです。

15名一同旅行カバンを背負い迷える小羊ではなくて、迷えるコツテ牛でもないのですが……。自称、別品15名の集まりで、昭和56年の事です。早速京都の仁和寺の第41世管長森諦圓様に電話をして、「高松から15名今から上京致しますから、今夜だけお宿をお願いしたいのですが」と、申し上げると非常に喜ばれました。同郷の誼みで快く泊めて戴く事になりました。とにかく京都に着いたのが夜の8時半頃で、駅の食堂にてオーダーストップに辛うじて食事にありつく事が出来ました。翌日は城崎方面に行く事に決定、城崎温泉のリバーサイドホテルが宿泊場所となりました。

組合女性部として今後のある方を話し合い、時々このように旅行をしたり食事会を持つ事にして、何か役に立つ事が無い物かと相談し、婦人部の力で側面より協力支援し、会員相互の修業と親睦を計る事を目的としました。特に女性の立場で、その豊潤な知性と、ナイスな勇気を持って、内助の功を發揮させました。したたる明朗な楽しい和合の会とする事に会員一同で決定致し、水明会と名付けました。

最初はTOTO、及びINAXさんに協力して頂き、ロータンクの仕組、ボイラの仕組等の勉強会を開く事にしました。毎年六月の水道週間に街へ出て水道局とタイアップして、広く市民に特に女性の方に「女性にでも出来ます水道教室」の看板を作り、お揃えのエプロンも譲り、メークー代理店の方々の協力で、デモンストレーション用のウォッシュシャレットや、シャワーセット、蛇口バネルや、配布用コマバッキン、また風船等提供して頂きパッキンの取替え方、トイレの漏水修理等を指導して、女性にでも出来る事を認識して貢献する様に広くアピールするのが狙いでいた。

その頃は各新聞の記事や、テレビニュースに取り上げられ、非常に騒がれたものでした。昭和63年、正式に水道組合婦人部として組合活動に参画する事になり、会員一同頑張つて各種行事には活動する事を誓いました。平成元年の全管連全国大会では、県民ホールにて茶道の盛んな土地柄と言う事もあって、県外からのお客様にお抹茶の接待等、又宇高連絡船上にて婦人部によるお接待等、組合活動の一端として色々協力させて頂きました。現在は会員も30名程になり、毎年四回の行事を行つております。正月には、睦月会として新年宴会、五月には春の会として総会、六月には水の会でTOTO・INAXの展示場にて各勉強会、又講師による講演会で各リフォームの勉強もして知識を広めております。

また今年の六月には水の会で、財田町の香川用水記念公園へ研修。記念館にある香川用水の生い立ち、歴史上の功労者等の展示品、パネル等色々と勉強させて頂きました。秋には、秋の会として年一回の研修旅行を計画致しております。平成7年1月17日阪神大震災の時、神戸市上下水道工事業協同組合へ、水明会より義援金を送らせて頂きました。また当時被災地へ老眼鏡を届けるため組合ビル1階にて、眼鏡の提供を市民に呼び掛け六百程の老眼鏡を集め、神戸市長田地区の避難場所を水明会有志の者で回つて直接手渡して差し上げ非常に喜び、「事は、未だ鮮明に記憶に残っております。平成14年1月水明会発足20周年

記年に神戸方面へ研修旅行へ、全員参加致し、20周年にふさわしい研修になりました。水明会は、年齢を越えて、仕事の悩みとか、内輪の悩み等もお互いに相談したり、また情報交換をしたりして広い視野を身につける場所を共有できる事です。会員一同は、これからも充実した和氣あいあいの楽しい集いの会になるように頑張つております。

青年部会の未来へのあゆみ

青年部 阿野 善一

此の度中川理事長の御指導と組合員皆様の御協力により、高松市上下水道工事業協同組合青年部会が発足致すことになり、平成15年4月19日青年部会の設立総会を開催致しました。

発足時の会員は26名で、高松市上下水道工事業協同組合に加入している組合員の代表者もしくは後継者で満45歳以下の会員の集まりであります。

目的としては、会員相互の親睦を図り、業務に緊密なる提携を保ち、各々会員の会社の健全なる成長発展を図ると共に、会員相互の諸研究と教養を高めて、管工事業界の推進を行なう事とします。経験豊富な組合の皆様から御指導をいただき、我々若者のエネルギーと、近年社会のスピードの早さに対応する知識を身につけて、将来の企業として社会に貢献できるよう努力して参ります。

本年度は調査研究として、表計算ソフトの基礎とか、リサイクルに対する意識を高める講習会を行います。また、将来の建設企業としてのISOに対する研究と、色々これからの世代に必要とされる知識の研修を数多く行っていく考えでいる次第です。

青年部に対して親組合員の皆様の御理解をいただき、一人でも多くの若い人達が集まり、お互いの情報を交換する場として、親睦の中でそれぞれ信頼される企業人として成長していきたいと思つてますので、よろしくお願い申し上げます。

■高松市上下水道工業協同組合青年部会員

No.	氏名	会社名
26	鈴木英敬	
25	高木亮輔	
24	宮宇地栄治	(株)誠良興業
23	平井慎一郎	(株)平井設備
22	阿野善一	太善工業(株)
21	高橋知巳	(株)高橋水道
20	鈴木雅登	三喜工業(株)
19	渡辺光一	三溪設備(株)
18	山田浩司	(有)山田商店
17	友澤幹知	(有)友澤電設
16	福田融人	(株)福田工業
15	松熊秀樹	松熊工業(株)
14	浮田浩之	(有)浮田設備工業所
13	織田将男	織田設備(株)
12	浦川和倫	浦川設備興業(株)
11	三島季夫	三誠設備興業(株)
10	荒内雅彦	(有)荒内水道工業所
9	北風秀城	(株)北風建テック
8	安西明裕	(有)安西工業所
7	高尾達也	(有)玉浦工業所
6	村上直樹	(株)村上水道
5	中井真司	雄鳥工業(株)
4	高尾雄二	(有)松浦水道工業所
3	松浦一郎	松浦一郎
2	井上和典	(株)エヌ・ケイ・ワイ井上
1	広瀬英行	(株)広瀬住宅総合サービス



◎組合職員の紹介



◎協力会員紹介

「めぐる」時間「すすむ」時間
[Sail on] それは、風に向かつて船を進めること。
誰もが勝利するという目的で邁進する。そして誰にも同時にチャンスは与えられている。そこで勝つために自分に足りないものは何なのか、正確に把握してまた日々努力する。正確に把握していないば無駄な努力を排除できる。迷った時、不安が襲う。目の前の結果を求めて何かをトライしてみたくなり。商売には「変えない勇気」「変える勇気」がある。大きな目的のためにはどうしても必要であるものは何年掛けても習得できるまでトライすべきである。しかし、多くは目前の利益を求めて、小さなアジャストを繰り返す。

スパイラル状に輪を描いてめぐる「生物時間」と、まっしぐらに矢のようになります「物理時間」があるらしい。せわしない、どうすることもできない、不可欠の「物理時間」。よくいう自分の時間、あれが「生物時間」ということになるのだろうか。日曜日、家において家族とのんびりしているとき、時間の流れがまさに小川そのもので、そこに足をついているような気がすることもある。でも時々シャッフルして、古い記憶をひっぱりだしている。命の大切さや物事の善悪の区別など人間としての基本的な倫理観や規範意識などを、今一度考えなければならぬのではないか。

「めぐる」時間「すすむ」時間
[Sail on] それは、風に向かつて船を進めること。

誰もが勝利するという目的で邁進する。そして誰にも同時に

チャンスは与えられている。そこで勝つために自分に足りないものは何なのか、正確に把握してまた日々努力する。正

確に把握していないば無駄な努力を排除できる。迷った時、不

安が襲う。目の前の結果を求めて何かをトライしてみたくな

る。商売には「変えない勇気」「変える勇気」がある。

大きな目的のためにはどうしても必要であるものは何年掛

けても習得できるまでトライすべきである。しかし、多くは

目前の利益を求めて、小さなアジャストを繰り返す。

スパイラル状に輪を描いてめぐる「生物時間」と、まっしぐらに矢のようになります「物理時間」。よく

いう自分の時間、あれが「生物時間」ということになるの

だろうか。日曜日、家において家族とのんびりしているとき、

時間の流れがまさに小川そのもので、そこに足をついているよ

うな気がすることもある。

時間を感じることはできないことくらい知っているが、それ

でも時々シャッフルして、古い記憶をひっぱりだしている。

命の大切さや物事の善悪の区別など人間としての基本的な

倫理観や規範意識などを、今一度考えなければならぬので

はないか。

平素は、格別のお引き立てを賜りまして、厚く御礼申上げます。

弊社は、昭和16年創業以来給水装置の総合メーカーとして、

この半世紀歩んでまいりました。「アクア・アメニティー」

を企業スローガンとし、「水」を通して豊かな生活環境作り

を基本使命とし、皆様の毎日の生活を支えることができれば

と考えています。そして、私たちTABUCHIは、安全な水の

安定供給を目指し「給水システム商品」や「給水栓」に加え

て「給水設備商品」にも取り組み、環境を考えた様々な給水

システムを提案して行なっています。とりわけ、

マンションなどの集合住宅における直結給水方式の普及を期

して、そのためには必要な器具類の研究開発に努め、水の

流れをトータルにコーディネイトして行ないます。

営業品目、サドル分水栓、サドル分水栓施工用品、止水栓、

仕切り弁、各種ジョイント（ポリエチレン管用金属継手、ビ

ニール管用伸縮継手、ステンレス鋼管用伸縮可とう式継手、

フレキシブル継手などを始め、波状管、メーターベース、

メータバイパス、逆流防止器、吸排気弁、給水設備商品、水

撃防止器、サヤ管ヘッダー工法「アグナ」、減圧弁、水栓コンセントを製造販売しています。今後とも弊社製品のご愛用の程、宜しくお願い申し上げます。

室戸岬、足摺岬が太平洋を迎える、西日本一の石鎚山が聳える。

穂やかな瀬戸内海には、世界に誇れる規模の橋が有る。

四国の四季は住み易くもあり、厳しくもある。

風が吹けば涼しく感じ、寒くも成る。

日が射すと暖かく感じ、暑くも成る。

四国には、年間役二十万人の遍路が巡っていると言う。

平安時代に僧侶の修業として始まり、江戸時代に一般人にも広まつた弘法大師の修業の道をたどるお遍路歩きが今も受け継がれている。

白衣を着て、菅笠を被り、杖を持つ。

都会で見れば奇異に見える姿も四国では溶け込んで見える。

目的は様々で旅立つのだろう。

何處から始めても良し、一周すれば結願だが決して終わりではない。

宗旨を問わない、大師信仰も強制されない、自由参加の旅。

しかし、基本は道中修業。香川で生まれた空海が作った壮大な世界。

思ひ立つたら「発心」、車で巡り始めやつと巡り。

仕事を遊びで、行く、見る、四国とは違う四国がそこにはあった。

とは言うものの、心を込めた参拝が出来た訳でもなく。

もう一度、四国の自然と人に逢いに出掛けよう。

6

ここは四国

渡辺パイプ(株)
高松サービスセンター
山本 健一

「めぐる」時間「すすむ」時間
[Sail on] それは、風に向かつて船を進めること。

誰もが勝利するという目的で邁進する。そして誰にも同時に

チャンスは与えられている。そこで勝つために自分に足りないものは何なのか、正確に把握してまた日々努力する。正

確に把握していないば無駄な努力を排除できる。迷った時、不

安が襲う。目の前の結果を求めて何かをトライしてみたくな

る。商売には「変えない勇気」「変える勇気」がある。

大きな目的のためにはどうしても必要であるものは何年掛

けても習得できるまでトライすべきである。しかし、多くは

目前の利益を求めて、小さなアジャストを繰り返す。

スパイラル状に輪を描いてめぐる「生物時間」と、まっしぐらに矢のようになります「物理時間」。よく

いう自分の時間、あれが「生物時間」ということになるの

だろうか。日曜日、家において家族とのんびりしているとき、

時間の流れがまさに小川そのもので、そこに足をついているよ

うな気がすることもある。

時間を感じることはできないことくらい知っているが、それ

でも時々シャッフルして、古い記憶をひっぱりだしている。

命の大切さや物事の善悪の区別など人間としての基本的な

倫理観や規範意識などを、今一度考えなければならぬので

はないか。

平素は、格別のお引き立てを賜りまして、厚く御礼申上げます。

弊社は、昭和16年創業以来給水装置の総合メーカーとして、

この半世紀歩んでまいりました。「アクア・アメニティー」

を企業スローガンとし、「水」を通して豊かな生活環境作り

を基本使命とし、皆様の毎日の生活を支えることができれば

と考えています。そして、私たちTABUCHIは、安全な水の

安定供給を目指し「給水システム商品」や「給水栓」に加え

て「給水設備商品」にも取り組み、環境を考えた様々な給水

システムを提案して行なっています。とりわけ、

マンションなどの集合住宅における直結給水方式の普及を期

して、そのためには必要な器具類の研究開発に努め、水の

流れをトータルにコーディネイトして行ないます。

営業品目、サドル分水栓、サドル分水栓施工用品、止水栓、

仕切り弁、各種ジョイント（ポリエチレン管用金属継手、ビ

ニール管用伸縮継手、ステンレス鋼管用伸縮可とう式継手、

フレキシブル継手などを始め、波状管、メーターベース、

メータバイパス、逆流防止器、吸排気弁、給水設備商品、水

撃防止器、サヤ管ヘッダー工法「アグナ」、減圧弁、水栓コンセントを製造販売しています。今後とも弊社製品のご愛用の程、宜しくお願い申し上げます。

室戸岬、足摺岬が太平洋を迎える、西日本一の石鎚山が聳える。

穂やかな瀬戸内海には、世界に誇れる規模の橋が有る。

四国の四季は住み易くもあり、厳しくもある。

風が吹けば涼しく感じ、寒くも成る。

日が射すと暖かく感じ、暑くも成る。

四国には、年間役二十万人の遍路が巡っていると言う。

平安時代に僧侶の修業として始まり、江戸時代に一般人にも広まつた弘法大師の修業の道をたどるお遍路歩きが今も受け継がれている。

白衣を着て、菅笠を被り、杖を持つ。

都会で見れば奇異に見える姿も四国では溶け込んで見える。

目的は様々で旅立つのだろう。

何處から始めても良し、一周すれば結願だが決して終わりではない。

宗旨を問わない、大師信仰も強制されない、自由参加の旅。

しかし、基本は道中修業。香川で生まれた空海が作った壮大な世界。

思ひ立つたら「発心」、車で巡り始めやつと巡り。

仕事を遊びで、行く、見る、四国とは違う四国がそこにはあった。

とは言うものの、心を込めた参拝が出来た訳でもなく。

もう一度、四国の自然と人に逢いに出掛けよう。

「めぐる」時間「すすむ」時間
[Sail on] それは、風に向かつて船を進めること。

誰もが勝利するという目的で邁進する。そして誰にも同時に

チャンスは与えられている。そこで勝つために自分に足りないものは何なのか、正確に把握してまた日々努力する。正

確に把握していないば無駄な努力を排除できる。迷った時、不

安が襲う。目の前の結果を求めて何かをトライしてみたくな

る。商売には「変えない勇気」「変える勇気」がある。

大きな目的のためにはどうしても必要であるものは何年掛

けても習得できるまでトライすべきである。しかし、多くは

目前の利益を求めて、小さなアジャストを繰り返す。

スパイラル状に輪を描いてめぐる「生物時間」と、まっしぐらに矢のようになります「物理時間」。よく

いう自分の時間、あれが「生物時間」ということになるの

だろうか。日曜日、家において家族とのんびりしているとき、

時間の流れがまさに小川そのもので、そこに足をついているよ

うな気がすることもある。

時間を感じることはできないことくらい知っているが、それ

でも時々シャッフルして、古い記憶をひっぱりだしている。

命の大切さや物事の善悪の区別など人間としての基本的な

倫理観や規範意識などを、今一度考えなければならぬので

はないか。

平素は、格別のお引き立てを賜りまして、厚く御礼申上げます。

弊社は、昭和16年創業以来給水装置の総合メーカーとして、

この半世紀歩んでまいりました。「アクア・アメニティー」

を企業スローガンとし、「水」を通して豊かな生活環境作り

を基本使命とし、皆様の毎日の生活を支えることができれば

と考えています。そして、私たちTABUCHIは、安全な水の

安定供給を目指し「給水システム商品」や「給水栓」に加え

て「給水設備商品」にも取り組み、環境を考えた様々な給水

システムを提案して行なっています。とりわけ、

マンションなどの集合住宅における直結給水方式の普及を期

して、そのためには必要な器具類の研究開発に努

議事録

平成15年度高松市上下水道工事業協同組合・会議

第一回役員会

開催日時／平成15年4月18日(月) 15:00～16:00
開催場所／組合事務所 2階・役員会議室
出席者／役員13名 内出席者………9名
欠席者………4名
議 案／(1)平成14年度仮決算及び平成15年度予算案について
(2)第50回通常総会及び50周年記念式典について
(3)その他

第二回役員会

開催日時／平成15年6月17日(火) 15:00～
開催場所／組合事務所 2階・役員会議室
懇親会18:30～
出席者／役員13名 内出席者………13名
議 案／(1)平成15年度委員会組織について
(2)その他
※報告事項

第三回役員会

開催日時／平成15年8月11日(月) 15:00～
開催場所／組合事務所 2階・役員会議室
出席者／役員13名 内出席者………10名
欠席者……… 3名
議 案／(1)建設登録について
(2)その他
※報告事項

鉛管引替工事 助成金交付制度

水道水中の鉛濃度を低減させるための抜本対策は、鉛製給水管の取替えが最も有効です。本市では、平成元年度から鉛管使用を中止し、耐衝撃性硬質塩化ビニール管(HIVP)に管種変更したり、漏水修繕工事や配水管布設替え工事など、機会があるごとに鉛管の取替えを進めています。また、個人の所有財産である鉛製給水管(全世帯の約75%で使用)の取替えを積極的に推進することを目的に平成10年度から鉛管引替工事助成金交付制度を設け、1件につき10万円を上限として助成を行なっています。ご利用ください。



●鉛管引替工事助成金交付制度のお問い合わせ先
水道整備課 給水指導係／電話 839-2718